

国際CIO学会 論文投稿要領

1. 投稿に際して

- 1.1 投稿論文は、CIO研究に関するオリジナルな著述であり、他で発表していないものに限る。
- 1.2 論文は、日本語または英語のいずれかで書かれたものに限る。
- 1.3 「論文」の投稿は、国際CIO学会会員に限る。但し、現在学会員でなくても、学会大会まで、もしくは学会時に学会に入会した者はこれを認める。また、共著の場合は、共著者の1人が会員であればよいものとする。
- 1.4 投稿された論文の取り扱い及び掲載の可否については、編集担当理事が依頼する論文審査員の審査結果に基づいて決定され、著者に通知する。

2. 原稿執筆要領

- 2.1 原稿は横書きとし、A4サイズとする。マイクロソフトワードで作成していることが望ましい。(原稿様式は、別紙「投稿用論文テンプレート見本」(リンク)を参照。)
- 2.2 制限枚数には、図および表も含まれるものとする。
- 2.3 原稿には、(1)標題、(2)著者名、(3)所属、(4)要旨、(5)キーワード、(6)本文、(7)参考文献が含まれるものとする。
- 2.4 但し査読を受けるための論文投稿に際しては、原稿の1枚目に、標題、著者名、所属を書き、アブストラクト、キーワード及び本文は2ページ目からはじめる。従って、投稿時においては、制限枚数には、1枚目はカウントしないこととする。但し採択の場合は、1枚目を含み制限枚数に治まるようにする。
- 2.5 著者名には、右肩に*印をつけた上(著者が2人以上のときには、**、***と1人ずつ順に*の数を増やす)、原稿の1枚目の下の欄外に*印に対応させて(1行ごとに)、役職、所属機関、ならびに郵便番号、連絡先住所を書く。
- 2.6 要旨は、250字程度を目安とする。英語の場合は100ワード程度を目安とする。
- 2.7 キーワードは3つ以上5つまでを付与するものとする。
- 2.8 英語による投稿も基本的に上記の日本語と同様の形式をとるものとする。

3. 論文の形式

- 3.1 本文の章および節の番号の付け方は、章にあたるものには“1.”，“2.”，…，また第1章第1節にあたるものには，“1.1”(他も同じように順に)のように番号を付ける。

- 3.2 本文では、常用漢字を使用するものとする。ローマ字を用いる場合には、大文字と小文字の区別を明確に行うこと。またギリシヤ文字などの特殊文字を用いる場合にも、その旨を赤字で明確に指示すること。
- 3.3 句読点は、“，”と“.”を使用する。傍点は、該当する文字の上に打つこと。引用文には、カギ括弧「」、『』を使用することとし、クォーテーション・マーク‘ ’，“”は用いない。
- 3.4 数字は、原則として、アラビア数字を使用するものとする。ただし大きな数値を表わすときには、兆、億、万、千などの単位語を入れてもよい。
- 3.5 数式を用いる場合には、複雑な添字はつとめて避けること。また数式を1行につめすぎないこと。数式内の変数はイタリック表示、定数は立体表示、ベクトルはゴチック表示を用いることとする。
- 3.6 脚注には、右肩に一連番号を1), 2), …のように打ち、注そのものは、原稿のそのページの下に、そのつど書くものとする。
- 3.7 参考文献
参考文献は、原則として、以下の要領で記載するものとする。

3.7.1 和文の参考文献（翻訳を含む）の場合

3.7.1.1 学術論文

著者名、刊行された西暦年、標題、雑誌名（論文誌名）、巻数(号数)、ページ数。

論文全体を引用する場合は、論文の最初のページ数のみを記す。部分的引用の場合は、引用区間頭尾のページ数をハイフオンで結ぶ。また、ページ数が巻を通じて一連番号となっている場合は、号数の記載を省略する。

例：[1] 後藤玲子 (2005) 「労働市場政策の改革とローカル・ガバナンス」、『進化経済学会論集』, 9, pp.541-548.

3.7.1.2 書籍

著者名、刊行された西暦年、書名、発行所、ページ数。

例：[2] 須藤修 (1995) 『複合的ネットワーク社会』, 有斐閣.

3.7.2 海外の参考文献の場合

書名などについては、主な単語(word)を大文字ではじめること。

例：[3] Osamu Sudoh (2004) “Strategies for Sustainable Development and the Formation of NPO Knowledge Network” , *Review of Media, Information and Society*, 9, pp.11-30.

3.7.3 番号

参考文献は、和文および欧文のものをあわせて、本文中の出現順に[1], [2], …のように一連の番号をつける。

3.7.4 本文中での引用論文の標記

本文中の参考文献の引用は，例えば須藤[3]は…のようにわかりやすく標記する．

3.8 図表

3.8.1 表には，その上記に表の名称をつける．

3.8.2 図（写真を含む）には，その下記に名称を付ける．

3.8.3 図および表の番号は，それぞれが本文に現れる順番に従って，図 1：，図 2：，図 3：…，および表 1：，表 2：，…のように通し番号を付けること．また出典については，図表の右下に（ ）で標記すること．（出典：著者）等．

以上